

- 1 会議名 全員協議会
- 2 日時 平成28年9月21日(水)
午後3時30分～午後4時16分
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席議員 全議員
- 5 出席者 総務部長 山田日出雄、市民部長 柴田義晴、健康福祉部長 森山稔、建設部長 西垣正則、消防長 堀尾明弘、教育こども未来部長 長谷川忍
行政課長 中村定秋、商工農政課長 伊藤新治
- 6 事務局出席者 議会事務局長 尾関友康、同統括主査 寺澤顕
- 7 議長あいさつ
- 8 総務部長あいさつ
- 9 報告事項
- (1) 一部事務組合議会の経過報告
- ①小牧岩倉衛生組合議会
塚本議員：資料に基づき説明
質疑なし
- ②尾張水害予防組合組合会
梅村議員：資料に基づき説明
質疑なし
- (2) 執行機関からの報告
- ①9月定例会に追加提出予定の議案について
各部長：資料に基づき説明
確認等なし
- ②岩倉市行政経営プラン及び同行動計画に基づく平成27年度実績等の評価結果報告について
総務部長：資料に基づき説明
木村議員：8月3日、4日及び8日の3日間に渡る行政経営プラン推進委員会の審議において、多くの意見が出ているが、その取扱いについては委員会の場で執行機関側と意見交換があるのか。
総務部長：委員会は担当課長が取組業務の説明をして、それに基づいて委員から様々な意見が出される。委員会を経て本部会議が開催されるが委員会や本部会議の意見を担当課に返して、その意見を基に事業を進めていくことになる。平成28年度からは次期計画になるが、反映できるものは反映して取り組みたいと考えている。
- ③シティプロモーション事業の中間報告について

商工農政課長：資料に基づき説明

櫻井議員：岩倉市のイメージや住みやすさについてのワークショップの参加者10名について男女比はどうか。

商工農政課長：全員女性である。

堀議員：イメージ調査結果のポイントの結果は誰が結論付けたのか。

商工農政課長：結果ではなく、調査を行うことによって見えてきたということである。

堀議員：「定住させる「理由」づくり～愛着づくり～が必要である」の「愛着」について、調査についても「愛着」という表現がない中で唐突に出てきた。実際に岩倉市に住み続けられない理由として、住宅がないという理由が明らかであり、なぜここに愛という表現を用いたか。

商工農政課長：定住意向で一宮市や北名古屋市に比べて低いという結果は、持家率が低いということも結果の要因になっていると考えている。岩倉市で一戸建てを購入したい、住んでみたいと思ってもらえるよう「愛着」という言葉を用いている。

④その他

台風18号による被害について

消防長：被害については現在危機管理課にて情報を収集している。多少時間もかかる。9月20日午後3時に災害対策本部を立ち上げ、同日の午後9時20分に解散した。この間の雨量であるが、東海地方の多いところで250mmと報道されていた。消防署にて観測した結果は133mmで、午後5時29分からの1時間が最も多く51mmを観測した。風速は最大で19.8m/秒であった、時間は午後4時59分の観測である。8月2日にも集中豪雨があったが、1日の雨量は84mmで1時間で最大68mmの雨量を観測した。短時間としては8月2日の雨量のほうが多かったが、昨日は1日の雨量が多いという結果であった。

質疑なし

(3) その他

特になし

10 協議事項

特になし。

11 その他

次回の全員協議会の日程について

議会事務局長：次回10月18日である。